米国バイオ&テクノロジー株オープン

追加型投信／海外／株式

商品販売用資料
2020年6月

お申込みの際は必ず投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

このファンドは、主に米国の株式等を投資対象としています。このファンドの基準価額は、組入れた有価証券等の値動き、為替相場の変動等の影響により変動しますので、投資元本は保証されているものではありません。

お申込み・投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は

設定・運用は

岡三アセットマネジメント

商 号 等：岡三アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第370号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

バイオとテクノロジーが生み出す進化への投資——

絶え間ないイノベーションが、
米国経済を活性化させてきました。
世界最先端のイノベーションがもたらす
米国の競争力・強みへの投資をご案内します。

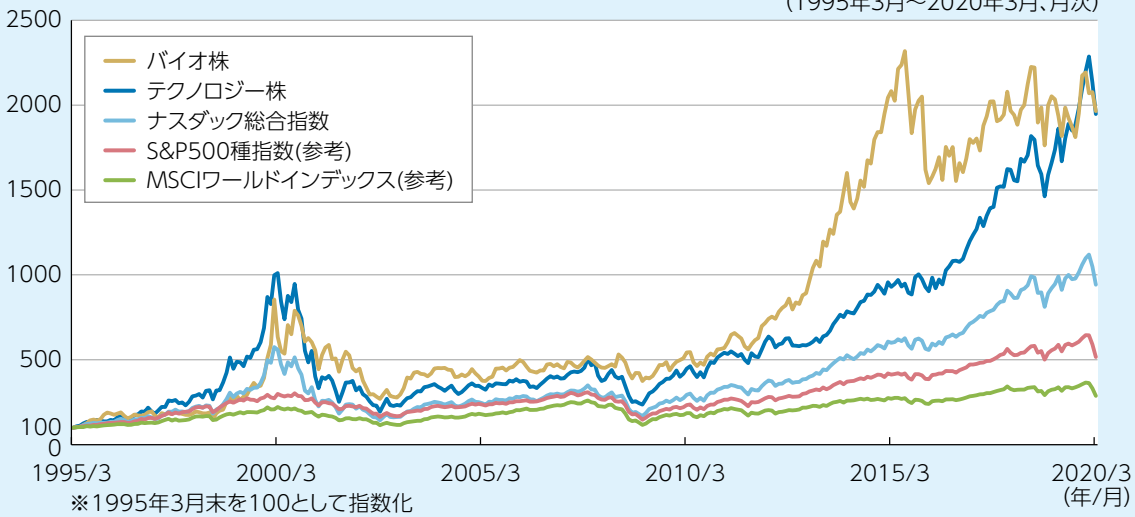
イノベーションが米国経済をリード

成長性に注目!!

ナスダック総合指数のけん引役は、バイオ株とテクノロジー株です。

バイオ株とテクノロジー株の推移

(1995年3月～2020年3月、月次)



※1995年3月末を100として指数化

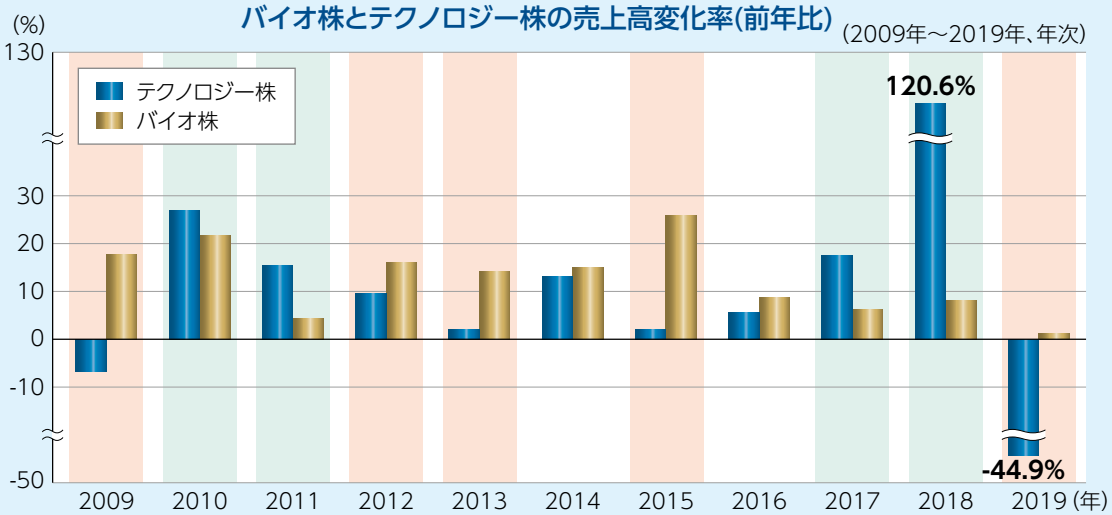
(出所)Bloombergのデータを基に岡三アセットマネジメント作成

補完性に注目!!

バイオ株とテクノロジー株の売上高変化率を見ると、両セクターを保有することで得られるメリットがあると考えられます。

バイオ株とテクノロジー株の売上高変化率(前年比)

(2009年～2019年、年次)



※売上高変化率は各指数構成銘柄の12ヵ月1株当たり売上高を基に算出

売上高変化率においてテクノロジー株がバイオ株よりも5%以上高い年
売上高変化率においてバイオ株がテクノロジー株よりも5%以上高い年

(出所)Bloombergのデータを基に岡三アセットマネジメント作成

＜上記グラフで使用している指数(インデックス)＞
●テクノロジー株…ナスダック コンピューター株指数　●バイオ株…ナスダック バイオテクノロジー株指数

MSCIワールドインデックスはMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

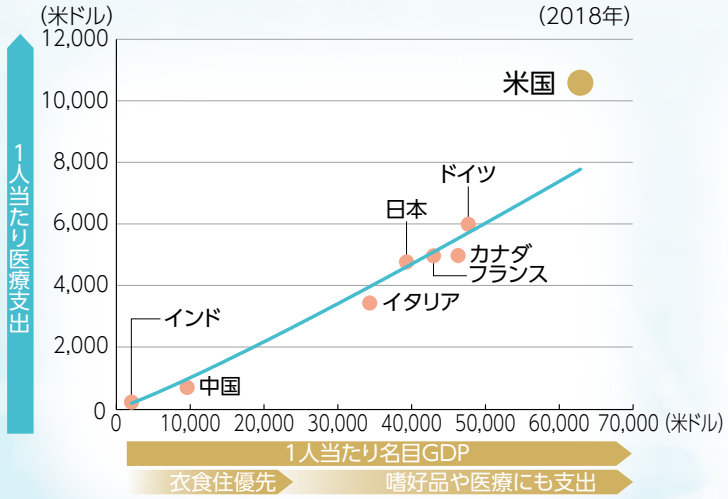
Biology

バイオ

生命科学分野の持つ普遍的な価値

バイオロジー(生物学)分野の研究における革新的な進化により、遺伝子治療、再生医療を用いて「アルツハイマー」「がん」などの難病が克服可能となる時代が到来しようとしています。

名目GDPと医療支出の相関関係

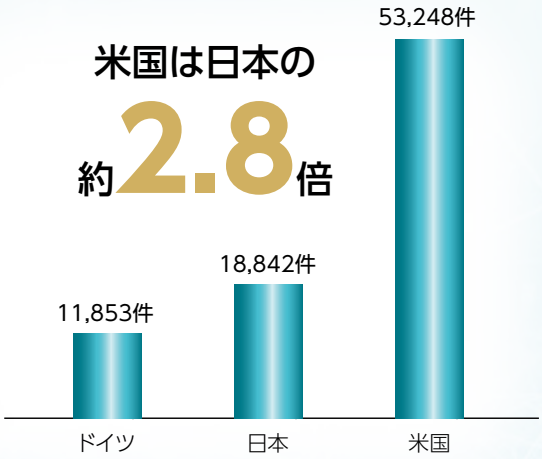


※青い線は累乗近似曲線で傾向を示しています。
※1人当たり医療支出:中国とインドは2016年のデータ
※1人当たり名目GDP:インドは2013年、日本は2017年のデータ

(出所)IMF(国際通貨基金)「World Economic Outlook Database, October 2019」、OECD

医薬品・バイオテクノロジー関連特許登録数

(2018年)



(出所)WIPO(世界知的所有権機関)

Technology

テクノロジー

新技術がもたらす高い付加価値

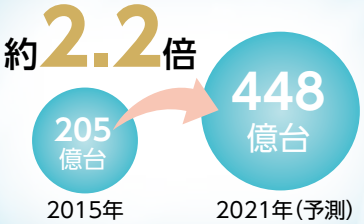
近年急速に発達したIoT(モノのインターネット)、クラウド、AI(人工知能)を駆使することにより、市場ニーズの変化に正確かつ迅速に対応する時代がやってきました。

IoT
(Internet of Things)
あらゆるものがネットにつながり世界を変える

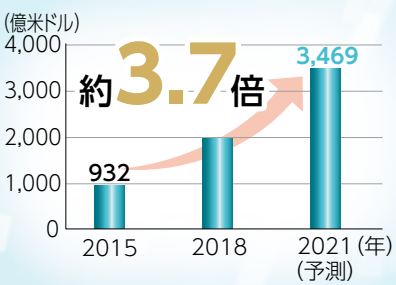
クラウド・コンピューティング
IoT時代に欠かせないネットワークインフラ

AI
(Artificial Intelligence)
自ら分析し進化する人工知能

インターネット接続デバイス数の予測



クラウドサービスの世界市場規模の推移および予測



AI次世代ロボット市場

(2020年、予測)

※2020年3月末(107.54円)で米ドル換算

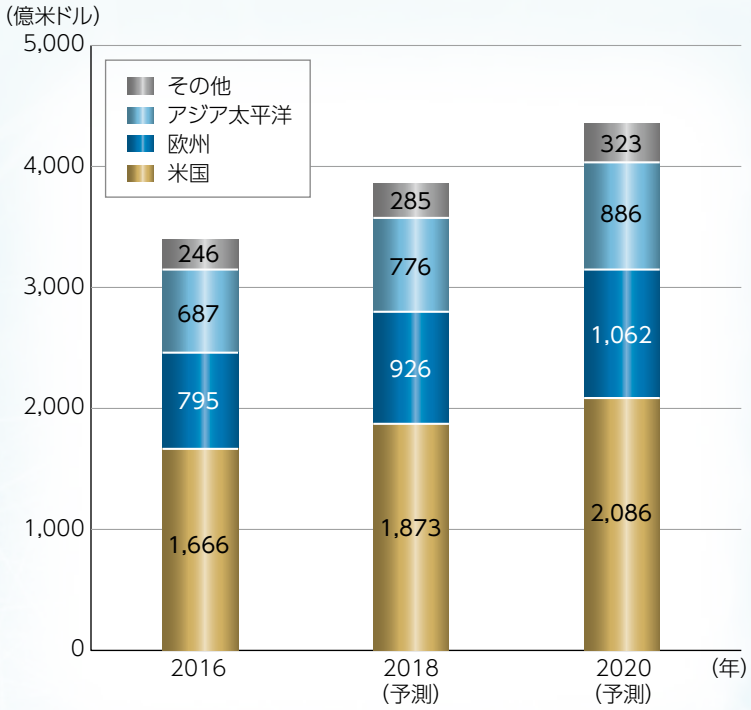
(出所)総務省「令和元年版情報通信白書」、経済産業省

市場環境等についての評価、分析等は、将来の運用成果を保証するものではありません。

バイオとテクノロジーの融合 高度に進化する医療

高齢化社会による医療ニーズの増加、慢性疾患の発生率の上昇、高額医療費等が問題となっています。
AIやIoTなどの技術を応用した医療機器により私たちの命を助ける時代が訪れようとしています。

世界の医療機器市場の動向



(出所)ITA Medical Devices Top Markets Report

AIドクター誕生

- 2018年4月に、世界初となる「AIドクター」が米国で誕生しました。
- 眼底写真用の特殊カメラで撮影した網膜画像を、先端AI「ディープラーニング」を使って自動解析。様々な眼疾患の中でも、「糖尿病性網膜症」にかかっているかどうかを判定します。

※「ディープラーニング」とは、AIが自らデータの特徴を学習して事象の認識や分類を行うことです。

(出所)FDA(米国食品医薬品局)のレポート

進化する医療現場(手術室)を支えるテクノロジー

ハイブリッド手術室

- 医療向けの画像・イメージング機器(人体の内部に潜んでいる罹患部位を可視化するために、内視鏡およびその他医療用途に特化した機器)を使用し、医師の手により手術が進められます。

MRIの画像をもとに医師が判断

医師が医療機器を操作

▼

スマート手術室

- 外科医が腕をふるうのは“シアター型”のサイバー空間になります。
- 「術者コックピット」
  2つのアームを備えたロボットで、術者の腕の動きをサポートし、手のふるえや疲労を軽減します。
- 「ロボティック手術台」
  患者を術中MRI装置内へ自動搬送し、撮影後に元の手術位置へ正確に復帰させます。

AIの画像診断をもとに医師が判断

手術支援ロボットにより手術を実施

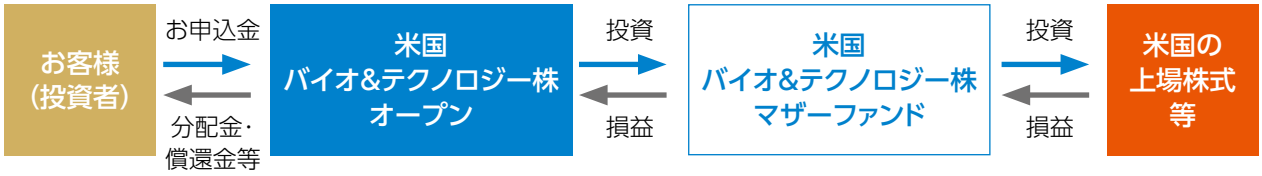
(出所)各種資料

ファンドの特色

1 **米国の取引所に上場されているバイオテクノロジー、IT、テクノロジー、先端技術製品、サービステクノロジー等の各分野の企業の株式※に投資します。**

※DR（預託証券）を含みます。DRとは自国以外で株式発行会社の株式を流通させるために、その発行会社の株式を銀行などに預託し、その代替として自国以外で発行される証券をいいます。

<ファミリーファンド方式で運用します>



2 **投資候補銘柄の選定にあたっては、技術や製品の革新性、将来性、企業の成長性、収益性、成長過程等に着目します。**

3 **ポートフォリオの構築にあたっては、定量分析、定性分析、バリュエーション、セクター別比率、流動性等を勘案して行います。**

4 **外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。**

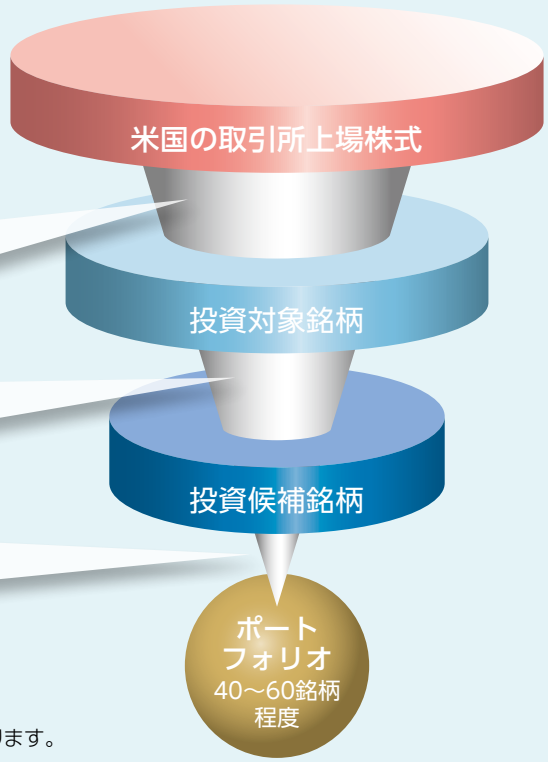
米国バイオ&テクノロジー株マザーファンドのポートフォリオ構築プロセス

アクサ・インベストメント・マネージャーズUKリミテッドから、投資候補銘柄に関する投資助言を受けます。
岡三アセットマネジメントは投資助言を参考に、銘柄選択およびポートフォリオの構築を行います。

定性スクリーニング
バイオテクノロジー、IT、テクノロジー、先端技術製品、サービステクノロジー等の分野の企業を選定

銘柄分析
技術や製品の革新性、将来性、企業の成長性、経営者の質、収益性、流動性等を勘案し選定

ポートフォリオ構築
定量分析、定性分析、バリュエーション、セクター別比率、流動性等を勘案し、ポートフォリオを構築



※ポートフォリオ構築プロセスおよび銘柄数は変更になる場合があります。
※投資助言者、投資助言の内容、投資助言の有無については、変更する場合があります。

アクサ・インベストメント・マネージャーズUKリミテッド
アクサ・インベストメント・マネージャーズUKリミテッドは、生命保険、損害保険、資産運用分野などの幅広いニーズに応える商品やサービスを提供する世界最大級の保険・資産運用グループであるアクサ・グループの資産運用部門であるアクサ・インベストメント・マネージャーズのロンドン拠点です。

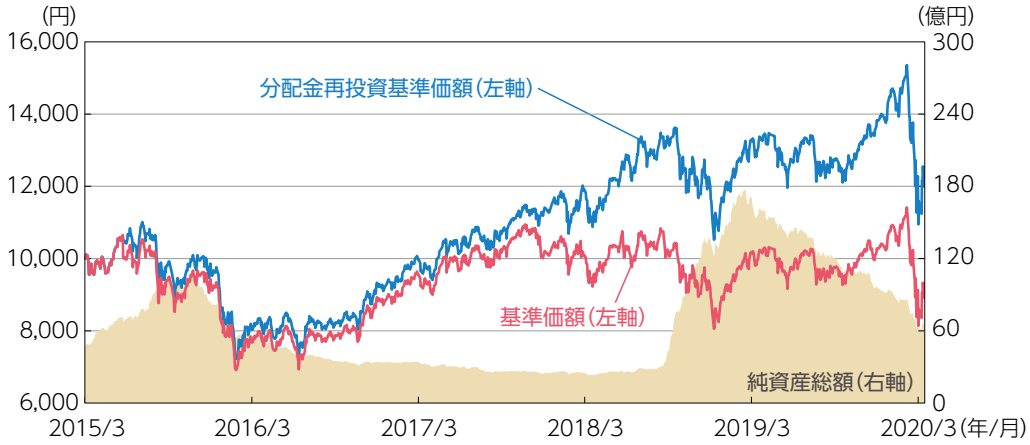
資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

運用実績（2020年3月31日現在）

＊最新の基準価額の推移、分配実績等は、当社ホームページに掲載しておりますので、ご確認ください。

設定来の基準価額および純資産総額の推移

基準価額	9,314円	純資産総額	67.1億円



分配実績（1万口当たり、税引前）

決算月（年/月）	分配金
2015/6	450円
2015/9～2017/3	各0円
2017/6	50円
2017/9	0円
2017/12	650円
2018/3	550円
2018/6	550円
2018/9	500円
2018/12～2019/9	各0円
2019/12	300円
2020/3	0円
設定来合計	3,050円

※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
※分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
※分配金は過去の実績であり、今後の運用状況によっては分配金が支払われない場合があります。
※運用実績は過去のものであり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。また、税金、手数料等の費用を考慮しておりませんので、お客様が得られる実際の投資成果とは異なります。

投資リスク

基準価額の変動要因

投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様に帰属します。
ファンドは、米国の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。

■主な変動要因

株価変動リスク	株式の価格は、発行会社の業績や財務状況、株式市場の需給、政治・経済状況等の影響により変動します。
為替変動リスク	外貨建資産は、為替相場の変動により円換算額が変動します。投資対象通貨に対する円高により、外貨建資産の円換算額は減少し、円安により、外貨建資産の円換算額は増加します。
信用リスク	有価証券等の発行体の破綻や財務状況の悪化、および有価証券等の発行体の財務状況に関する外部評価の変化等の影響により、投資した有価証券等の価格が大きく下落することや、投資資金が回収不能となることがあります。

■その他の変動要因

カントリーリスク

※「基準価額の変動要因」は、上記のリスクに限定されるものではありません。

留意事項

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額が影響を受けることがあります。
- 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。

お申込みメモ

購入時

購入単位
販売会社が定める単位
◆詳しくは販売会社にご確認ください。

購入価額
購入申込受付日の翌営業日の基準価額

換金時

換金単位
販売会社が定める単位
◆詳しくは販売会社にご確認ください。

換金価額
換金申込受付日の翌営業日の基準価額

換金代金
換金申込受付日から起算して、原則として5営業日目から販売会社を通じてお支払いします。

その他

購入・換金申込不可日
以下に該当する日は、購入・換金申込みの受付を行いません。
・ニューヨークの取引所の休業日

信託期間
2025年3月7日まで(2015年3月17日設定)
◆受益権口数が5億口を下回ることとなった場合、やむを得ない事情が発生した場合等には繰上償還となることがあります。

決算日
3月、6月、9月および12月の各月9日
(休業日の場合は翌営業日)

収益分配
年4回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。
◆将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

課税関係
課税上は株式投資信託として取り扱われます。
公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度、未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。
配当控除の適用はありません。
税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

お客様にご負担いただく費用

お客様が直接的に負担する費用

購入時

購入時手数料
購入価額×購入口数×上限3.3%(税抜3.0%)
◆詳しくは販売会社にご確認ください。
◇ファンドの商品説明および販売事務手続き等の対価として販売会社に支払われます。

換金時

換金手数料
ありません。

信託財産留保額
ありません。

お客様が信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中

運用管理費用(信託報酬)
純資産総額×年率1.815%(税抜1.65%)

委託会社	年率1.00%(税抜) ◇委託した資金の運用の対価です。
販売会社	年率0.60%(税抜) ◇運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。
受託会社	年率0.05%(税抜) ◇運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。

その他費用・手数料
監査費用:純資産総額×年率0.0132%(税抜0.012%)
有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を投資信託財産でご負担いただきます。
なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。
(監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。)

○お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
○詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご参照ください。

委託会社およびその他の関係法人

委託会社 [投資信託財産の設定、運用の指図等]
岡三アセットマネジメント株式会社

受託会社 [投資信託財産の保管・管理等]
株式会社りそな銀行

販売会社 [購入・換金の取扱い等]
販売会社の詳細につきましては、下記の委託会社フリーダイヤルまでお問合わせいただくか、ホームページをご参照ください。

委託会社お問合わせ先 【岡三アセットマネジメント株式会社】
フリーダイヤル **0120-048-214** (営業日の9:00～17:00)
ホームページ **https://www.okasan-am.jp**

■本資料は、岡三アセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。本資料中の図表等は、各出所先(ホームページを含む)のデータを基に岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものです。記載内容、数値、図表等は、本資料作成時点のものであり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。本資料は当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
■購入の申込みに当たっては、「投資信託説明書(交付目論見書)」及び「契約締結前交付書面」又は「目論見書補完書面」を十分にお読みいただき、投資判断は、お客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

作成:岡三アセットマネジメント株式会社